

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 JAPAN

Tajima



著述の傍へ看官あり。至。壁。田翁苦辛の粒米餧。之を離狗の五器へ
 投。之。者。如。鳥。呼。書。作。之。之。漫。剽。稿。
 摸。擬。之。皆。等。類。免。也。只。く。奪。胎。換。骨。之。段。造。化。の。巧。欺。接。
 木。の。花。異。彼。桃。か。櫻。を。汎。せ。檀。か。丹。楓。を。添。看。官。の。墓。を。
 忘。れ。る。の。な。ど。樹。も。亦。己。が。根。本。の。他。木。を。知。よ。あ。う。花。を。呈。一。實。を。
 献。ぞ。れ。を。奪。胎。換。骨。の。妙。巧。と。い。ま。べ。し。れ。傾。城。水。許。の。一。書。も。亦。そ。の。
 一。段。接。木。又。寫。下。四。羅。氏。の。水。滸。を。基。本。と。作。者。の。趣。向。接。合。下。兒。園。冊。
 子。の。小。盆。又。裁。下。書。齋。の。室。は。養。ひ。立。る。是。で。五。編。の。花。の。解。縁。日。の。と。
 同。招。よ。安。が。れ。て。六。骨。折。の。甲。斐。よ。と。又。仙。鶴。堂。が。氣。主。春。假。の。上。太。よ。
 あ。く。何。處。も。融。九。包。美。育。評。判。を。と。う。が。啼。東。久。作。者。常。盤。木。
 今。迄。で。二。八。ヶ。年。休。せ。續。く。筆。冥。加。商。賣。冥。利。板。元。の。耳。ふ。溢。
 ま。よ。愛。敬。わ。れ。と。壽。を。序。も。

文政十戊子春正月吉日新版

曲亭馬琴撰



明
歌川國安畫
曲亭馬琴著
書肆仙鶴堂梓
文政十子春錄并刊行

處樓

高 日 高 日

女行者竹世

虎と
石とく足と
たのめと
あひありあ
十手の鐵門と



後家持西門屋阿啓

餅師
一寸星家代

雨雲乃あす
のふくら
りも腹も
あらへ干あま



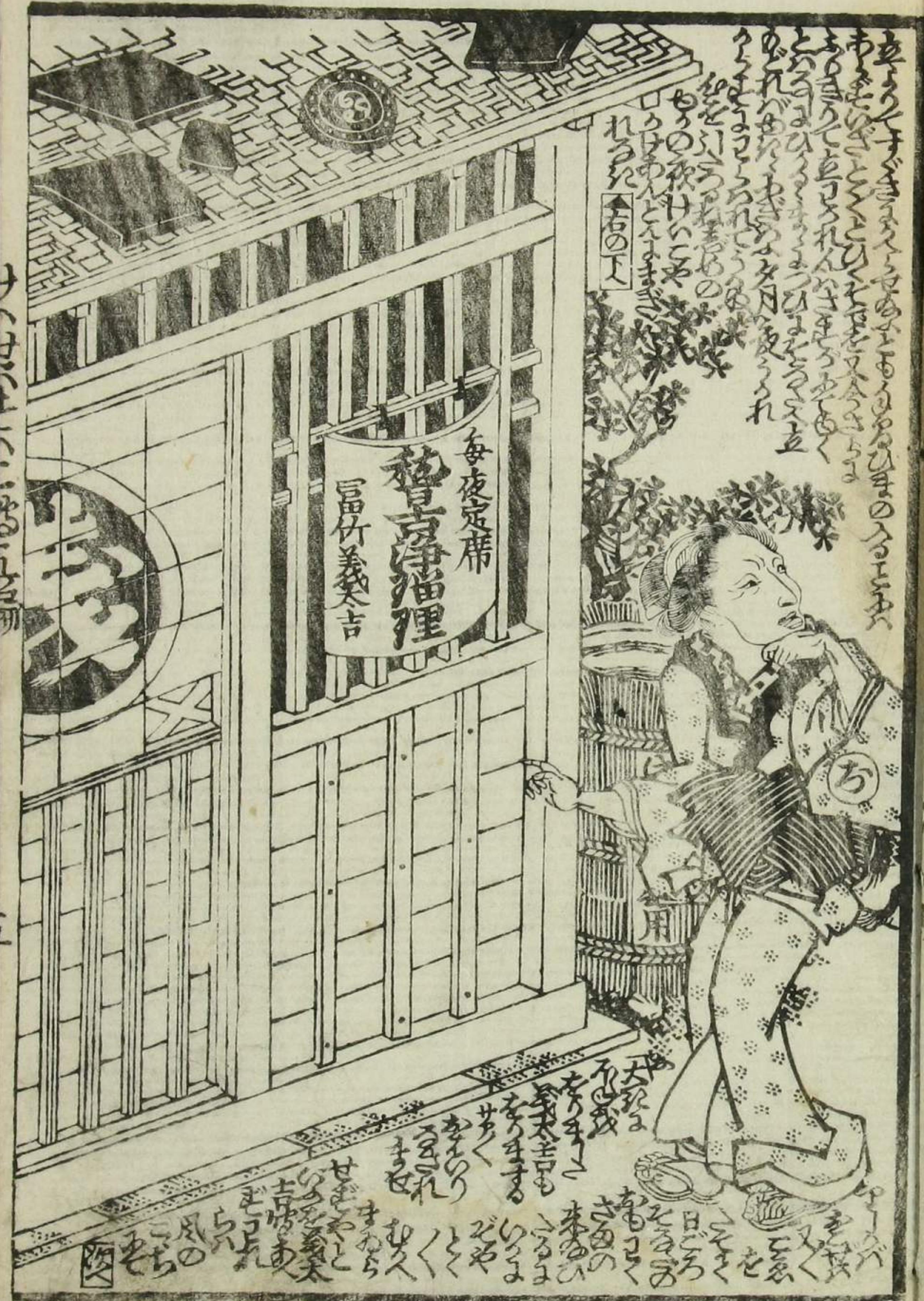
金蓮助
關防人
きれすけ
きんなんじゆ





けいせのむらごは五編

四





トナヒヤシタシテ作五絵

七五





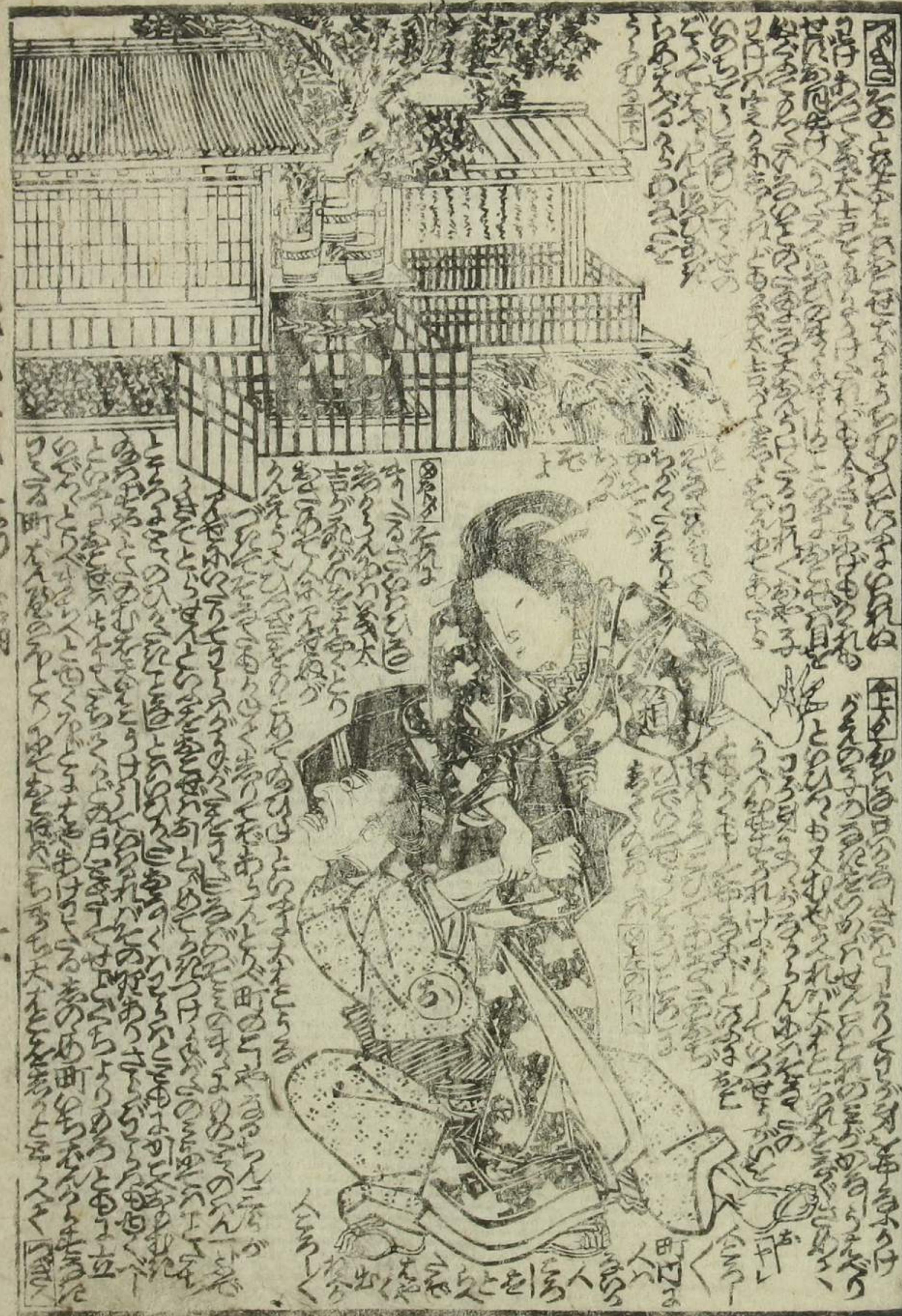


曲亭馬琴著
傾城水滸傳第五編

歌川國安画
上帙卷之下

卷之五



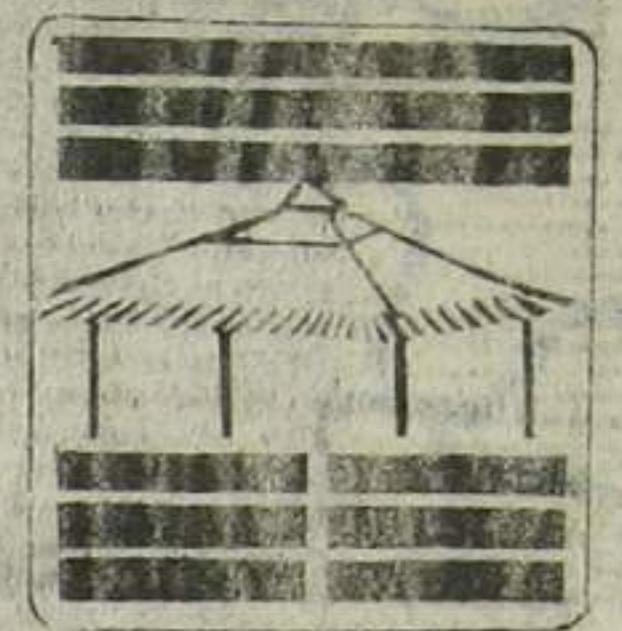


馬琴翻按
國安寫真

傾城水滸傳第五編之二

通あぐら町はるひ森みりんわえん

星を戴岩根踏み精杵米臼氷の山岱踰る霄小
猛虎と作せ巔の森猪戸観計の賽革衣冠者忠道の
晉侍態も時より 勇婦竹世一姫嫁の程徒粥



難を避禍鬼と脱也八百日也く越の長濱うち過く
佐渡よ横よ天の河牽牛織女と貨小袖の折寵の蒼紫
東道儲も殊じらふ 春雨大箱胞姉妹の旅の隠宅

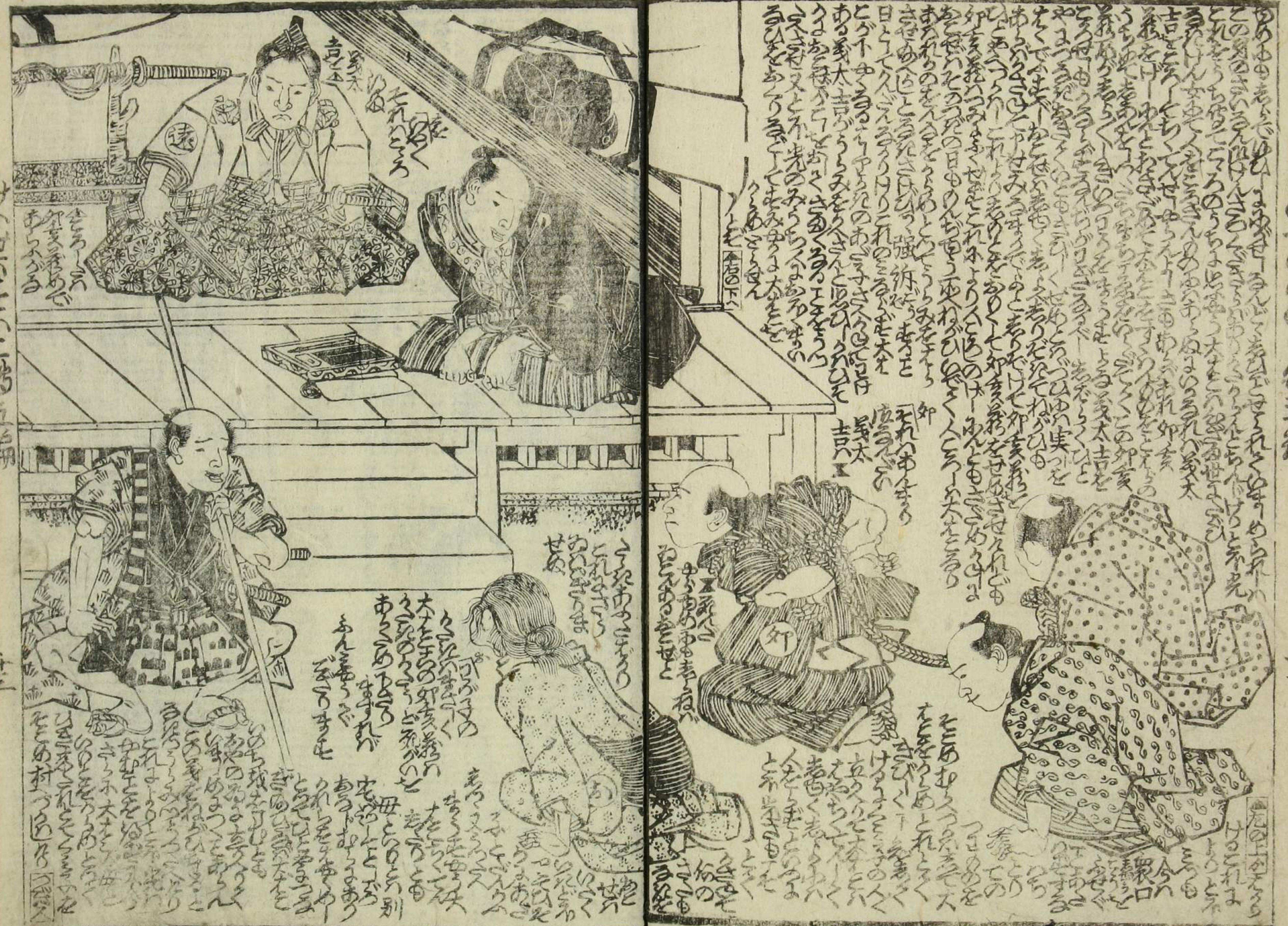


ナヘナヘニシニシニシニシニ

四百の下へ



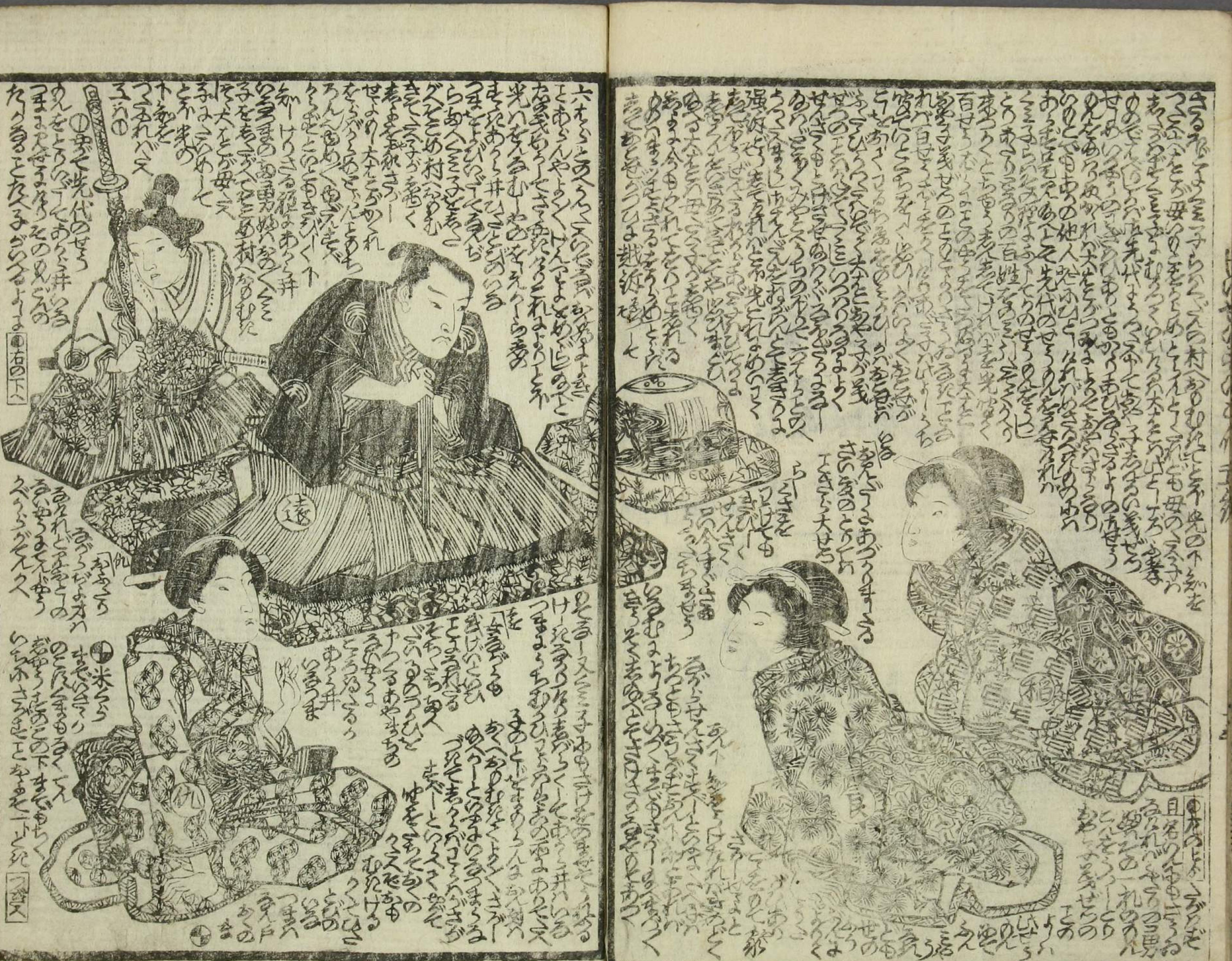
四





ナハサホトトヘ・萬葉五言用

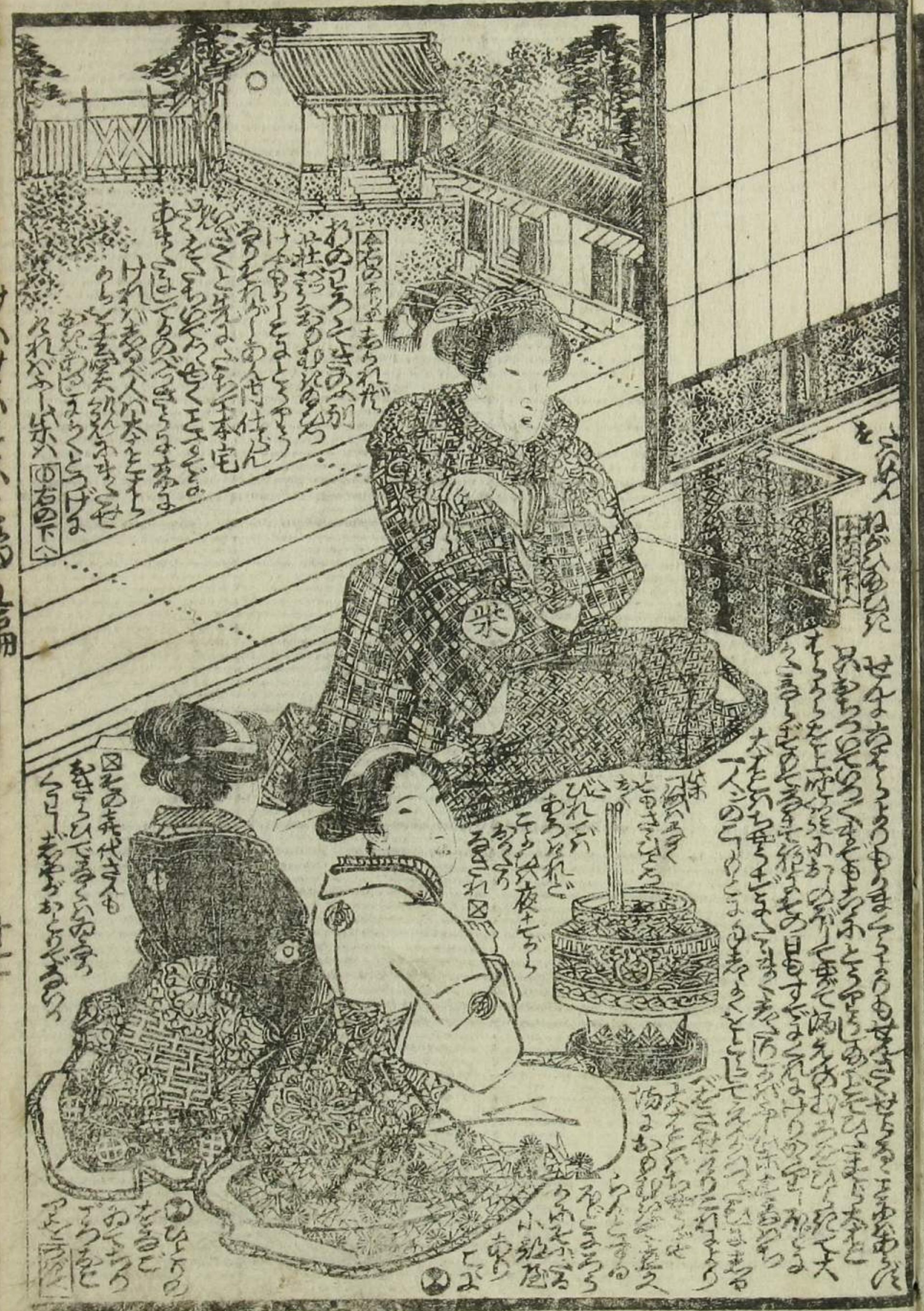
一四



〔後〕

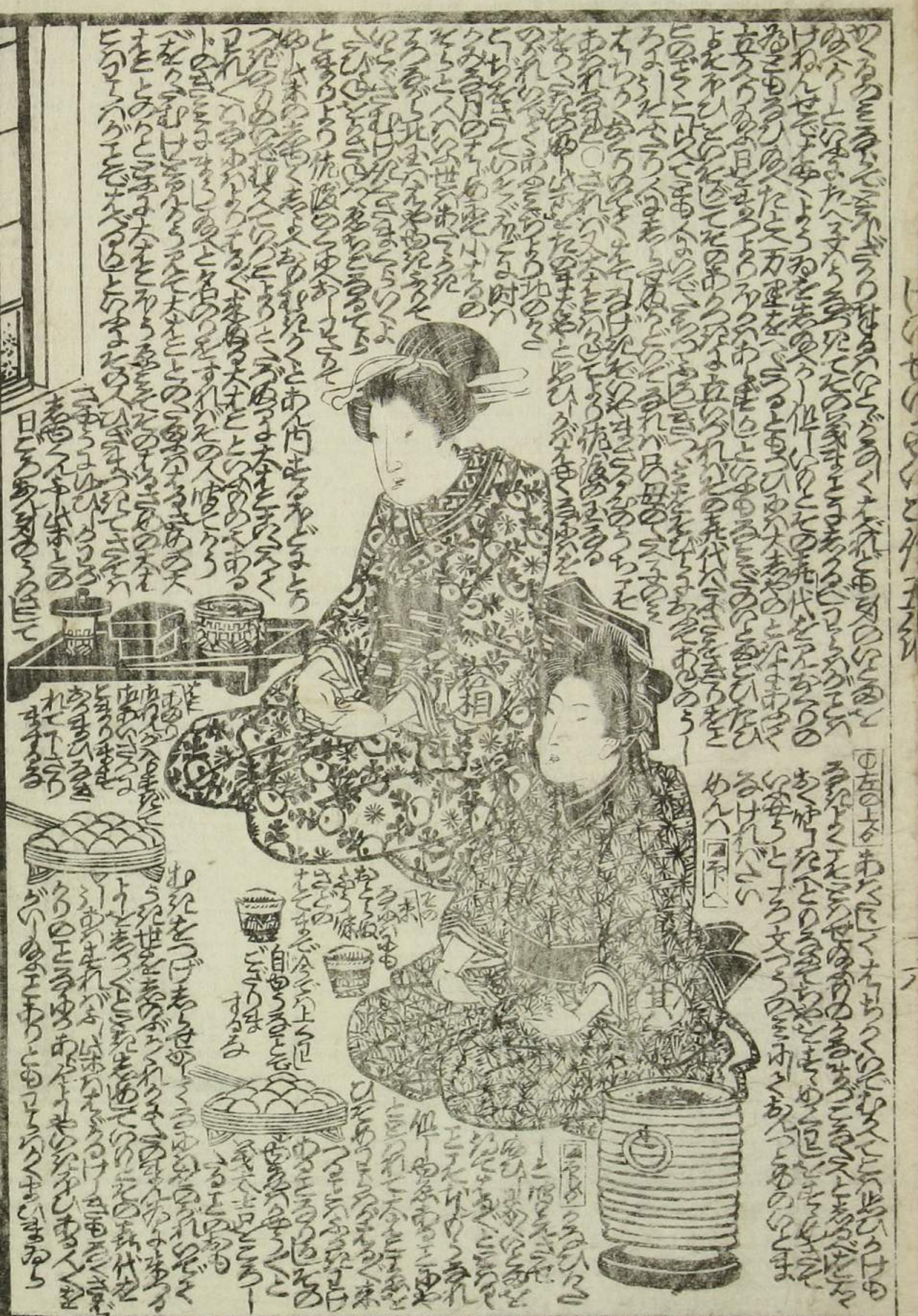
一四





サハサハトホト高麗

上



ヒヒサハトホト高麗

下



不許三碗越峰





